

思い出カフェ

かわぐちナーシングホームがご提供させていただくオレンジカフェです。

認知症カフェとは
(オレンジカフェ)

認知症の方とその家族、地域住民、医療や介護等の専門職など、地域の誰もが参加でき、楽しく過ごしながら、仲間づくりや情報交換のできる場所です。

認知症の方本人にとっては自ら活動し地域とつながることができる場、ご家族にとっては介護についての悩みを相談できる場、地域の方にとっては認知症の方と交流し、認知症についての理解を深められる場となっています。

介護関連のことはもちろん、いろいろお気軽にご相談ください。

倉持店長



- * 普段、施設では看護師として、また介護の課長として勤務しています。医療相談・介護相談・人生相談もお聞きします。
- * 固い話しばかりでなく、コーヒーやお茶を飲みながらお話ししましょう。(倉持)
- *
- *

体操



- * 施設ではリハビリスタッフとして勤務しています。
- * 3B体操のインストラクターの資格も所有しておりますので、楽しい健康体操を一緒にやりましょう。
- * 3B体操は、自分の心身の健康を取り戻そうと考え、体験のなかから生まれた健康体操です。補助具としてボールベル、ベルター(輪をつないでベルト状にしたもの)を使う体操です。(富山)
- *

食事など



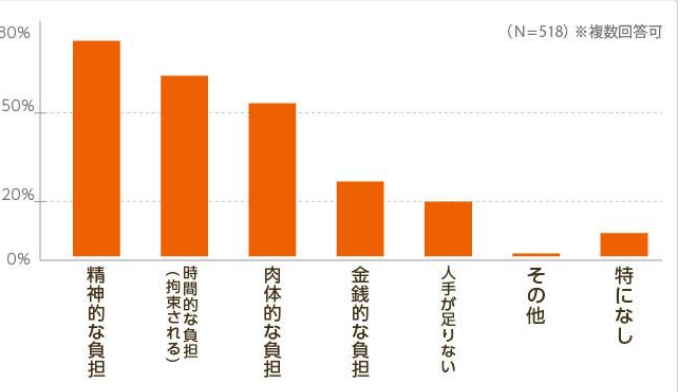
- * 施設では管理栄養士、またデイケアの相談員として勤務しています。
- * ご家庭での栄養管理や、献立などのご相談ください。(辻村)
- *
- *

介護関連



- * 施設では介護課係長として勤務しております。介護福祉士・ケアマネの資格を所持していますが、さらに知識を深めるため、認知症研修にも多数参加し、認知症サポーターにもなることができました。
- * 介護等でお困りのことがあれば何でも相談してください。
- * お待ちしております。(栢森)
- *

困りごとや自宅での介護についてなど
ご相談ください。



在宅介護経験者が実感した苦勞で、5割以上の方が回答しているのが、「精神的な負担(74.3%)」「時間的な負担(62.5%)」「肉体的な負担(53.3%)」でした。

ご相談をいただければ、何かお役にたてるかもしれません。
お気軽に当施設職員にお聞かせください。

《オレンジカフェの意義》

<p>【家族・介護者】</p> <p>気軽に悩みを相談でき、 介護負担を軽減することができる場</p>	<p>【認知症の方】</p> <p>安心して過ごせ、 地域とつながることができる場</p>
<p>オレンジカフェ</p>	
<p>認知症の人とその家族の別の側面を 発見することができる場</p>	<p>認知症の理解を深めることができる場 地域における役割を見出す場</p>
<p>【専門職】</p>	<p>【地域住民】</p>



温かいお飲み物やお菓子を食べながらおしゃべりや楽しいひと時を一緒に過ごしましょう



健康リハビリ体操

当施設の理学療法士や作業療法士が正しい知識を基に簡単にできる体操をご紹介します。一緒にやりましょう！



ちびっ子たちも遊びにきてます。



お手伝いもしてくれます。



毎月第4 日曜日 開催
10:30より

お気軽にどうぞ！



医療法人若葉会
かわぐちナーシングホーム
電話:048-498-3111(担当:栢森かやもり)

